

「今やるべきこと、今からやり続けるべきこと」

大会伝道局理事長 田部郁彦

大会伝道局の働きと大会伝道地の群れのためにお祈りくださり、また尊い献金を捧げて頂いておりますことに心から感謝申し上げます。ここに昨秋以来の大会伝道局の活動の一端と今後の取り組みの課題について述べさせていただきます。

「大会伝道局報」の紙面によって、これまでも繰り返しご報告してまいりました西原町の土地区画整理事業にともなう、沖縄伝道所の会堂・牧師館移転の進捗状況であります。何らの進展も見られない事態が続いております。昨年度から、当然のことながら、事業主体である西原町に対して当該事業が早急に進められることを強く要望すると共に、事業の遅延によって被っている種々の損失についての新たな補償を求めて要望書を提出し交渉を継続しております。この種の交渉には専門的な知識を必要としますが、大会伝道局としては、幸いにも同種の土地開発事業に長年従事してこられた専門家でもある南安夫長老（豊中中央教会）に理事として加わって頂いております。容易に解決の糸口を見いだすことが困難な問題ではありますが、南長老のお力添えを頂きながら取り組みを続けてきております。沖縄伝道所は、もうしばらくの間、大きな負担が強いられることとなります。そのような沖縄伝道所の現状を覚えて頂、御加禱くださいますようお願い申し上げます。

次に、もう一つの大会伝道地である岡山伝道所は、引退教師であります三瓶長寿先生による10年を越える良き奉仕を得て、着実な伝道と教会形成が続けられています。三瓶先生の在任期間は、応援教師として御奉仕頂く期間としては異例な長さであることを重々承知はしておりますが、しかし周知のように教職が不足している現状においては、新たに教師を得ることが厳しいことも事実で

す。なんとか一日も早く新たな伝道者が与えられることを願っております。

さて大会的な見地から考えますときに伝道にともなう課題は多々ありますが、岡山伝道所を例に挙げるまでもなく「教職が不足している現状」に対してどう対処すべきかということは日本キリスト教会全体として取り組まなければならない緊急を要する課題です。周知のようにこのような教職不足の事態は、日本キリスト教会全体の伝道と教会形成に直接的に様々な影響を及ぼし、そこから様々な問題が生じています、また生じてくるであろうことが今後予想されます。それらの問題解決のためには緊急的な対処も必要ですが、大中会全体による組織的な長期的な対応と取り組みが必要であると考えます。

大会伝道局としても、このような日本キリスト教会の現状に対してどのような関わり方ができるのか協議を重ねています。教職不足という現状を踏まえるならば、これまで大会伝道局が行ってきた大会伝道地を選定し、当該伝道所に対し伝道者をおくり、重点的に経済的な支援を行う開拓伝道のあり方は現状に即さなくなっているとも言えます。そのような現状に鑑みて、大会伝道局として、地方の無牧師の教会で、地理的、経済的な事情の故に、主の日の礼拝に教師の応援を得ることができない群れ（それは独立教会であっても）、そのような群れに、何らかの経済的な援助を行うことは出来ないか、出来るとするならばどのような内容で、またどの程度の規模の応援が可能かを含め、各中会、各中会伝道局、伝道委員会と協議をしながら、実現の道筋を探っていきたいと考えています。

大会応援伝道報告

「主のからだに連なる喜びと光栄、そして希望」

府中中河原伝道所牧師 大石周平

2月11日(日)～12日(月・休)、函館から久野牧教師をお迎えし、大会応援伝道による①特別礼拝・②伝道集会および③教会修養会を持つことがゆるされた。ここに、久野牧師と函館相生教会、近くから遠くから(札幌からも!)かけつけてくださった奉仕者各位、大会伝道局と全国の諸教会・伝道所の皆様に心からの感謝をこめて、短くご報告をさせていただきたい。そして、開拓伝道開始から三十余年を経、伝道所開設から十年の節目を目前に、本年度中の独立教会建設を夢見る私たちの群れのために、ご加禱をお願いしたい。

①4名の小児会員と6名の新来・求道者を含む36名が集った特別礼拝では、「神の子から人の子へ」と題し、フィリピ書2章に基づいて、「キリストの謙卑(自己卑下)」の意味が説き明かされた。主の「僕の姿」は単なる道徳的な模範ではなく、驚くべき救いの御心のあらわれだと知り、畏れと感謝と讃美を共にした。

当伝道所の礼拝は、常にこどもと大人の合同礼拝である。今回は改めて、幼子から年齢重ねた者まで皆が一緒に主のからだに連なり、地域も越えてひとつの「キリスト讃歌」にあずかる喜びを覚えた。

②礼拝後、おにぎりの会食をし、信仰の証を伴う自己紹介の交わりを深めたうえで、「世に遣わされた教会——キリストがおられる所に教会がある」と題する講演をうかがった。「真の神よりの真の人」であられるキリストを信じて使徒的教会に連なる私たちが、「古典的な教会の三つの標識」(説教・聖礼典・規律)をいよいよ重んじ、他

者のために奉仕しつつ「主のからだ」を形成する光栄が共有された。私たちは、世に対して「キリストを再現する」「小さなキリスト」として存在させられるという言葉が印象的だった。

③当伝道所初となる教会修養会(出席25名)の主題は、「キリストの三職と教会の三職——預言者・祭司・王としての働き」。講師は「キリストから教会とその肢である教会員とに委託されている務め」について、聖書に基づき、歴史的諸信仰告白や日キの憲法規則を参照しながら、分かり易く深く教えてくださった。講演後、サンドイッチの会食時にはこどもに囲まれ、質疑応答の時間には大人に囲まれ、いずれも手を抜かずに応じられた講師は、たいそうお疲れになったに違いなく、感謝にたえない。

なお、この修養会は、中会の教師を招くなどして二年半に及び重ねてきた「独立教会建設をめざす全員協議会」の最終回を兼ねていた。この間私たちが「教会建設の四本柱」と呼んできた「礼拝中心の交わり」(コイノニア)・「福音の宣教/伝



府中中河原

道」(ケリユグマ)・「祈りと告白の訓練」(ディダケー)・「神と人への愛の奉仕」(ディアコニア)に関する学びの総まとめに相応しい講演をうかがい、会員一同、教会建設の希望を新たにしている。とくに確認されたことは、教会建設が、主を頭とする聖餐共同体・宣教共同体・告白共同体・奉仕共同体を世に打ち立てる喜びと光栄と希望に満ちた業だということである。そのためには、万人祭司・万人奉仕といわれるように、教会員ひとり一人が与えられた敬虔



府中中河原

(ピエタス)と愛(カリタス)の賜物にしたがって、祈りに集約される「負いやすい軛」^{くびき}を担っていく必要がある(ある人はただ祈ることによって、ある人は祈りを業に繋ぐことによって、どんなに小さな者も務めを負う)。また、キリストの職務を世に体現する教師・牧師・長老・執事の務めを具体的に担う者の選びが主観的にも客観的にも確認され、法と制度の内実が目に見えて整えられるよう願うことも大切だと思われた。

最後に：現住陪餐会員25名前後の当伝道所のような群れが独立教会を建設することが、当たり前でないことは言うまでもない。古い大会記録に、教会30名・伝道教会15名との目安が、経済規模の指標と共に明記されている。しかし、伝道教会廃止後も暗黙裡に考慮されたこの基準を意識的に改め、20名程度での独立を考える時だという声があり、当伝道所委員会の見解もそれに近い(長老選出という第一の基準は重んじつつ)。

また、経済的自立についても、成長期とは違う判断が求められると考えた私たちは、「^{ギリギリ}一定期間の経済的自立」の見通しによる独立の線で動こうとしている(なんとかしばらく今の牧会体制で独立可能との判断)。その際、府中を含む多摩地区で日キの伝道所が自転車30分圏内に三つあり、一定期間内(10年以内)で「兼牧体制」などの新しい事態が生じる可能性を共に考慮する。「兼

牧」(牧師謝儀半分以下)なら「自立」できるという二つまたは三つの群れが、共に独立教会を建設(維持)し中会を支えるという「兼牧の積極モデル」があっても良いのではないか。府中の地からの小さな声を、近隣の教会と中会が積極的に受け入れ、大会も受けとめてくださればと考えている。

今年度の大会応援伝道 (9月まで)

府中中河原伝道所

2月11日(日)～12日(月)

講師 久野 牧(函館相生教会牧師)

札幌発寒教会 5月13日(日)

講師 駒井利則(南柏教会牧師)

東京中央伝道所 5月13日(日)

講師 森下真裕美(佐呂間教会牧師)

釧路教会 6月17日(日)

講師 三好 明(志木北伝道所牧師)

静岡池田教会 7月8日(日)

講師 北村一幸(小樽シオン教会牧師)

雲雀ヶ丘伝道所 9月16日(日)

講師 野木虔一(東京中会無任所教師)

加西伝道所 9月30日(日)

講師 ディヴァン・スフルマン

(台湾基督長老教会教師)

会計報告、教会別献金総額

会計報告

(単位：円)

科 目	2016年		2017年		備考
	(1月1日-12月31日)		(1月1日-12月31日)		
	予 算	決 算	予 算	決 算	
(収入の部)					
大会伝道献金	6,734,000	6,645,550	6,400,000	6,380,000	
個人団体献金	3,000,000	2,689,610	2,500,000	2,759,640	
雑収入	1,000	133	500	275	
沖縄会計より	0	0	0	1,476,464	
運用資金より	0	1,576,567	0	0	
前期繰越金	1,000,000	20,498	300,000	486,841	
合 計	10,735,000	10,932,358	9,200,500	11,103,220	
(支出の部)					
伝道地補助金	7,290,000	7,490,000	7,290,000	7,290,000	(注1)
大会応援伝道費	1,000,000	511,865	1,000,000	1,010,092	
問安費	600,000	849,614	600,000	687,856	
開拓伝道準備費	100,000	0	100,000	0	
事務費	500,000	515,669	400,000	499,802	
理事会費	900,000	1,078,369	900,000	946,800	
伝道局基金繰入	0	0	0	0	
運用資金へ	0	0	0	668,670	
予備費	345,000	0	410,500	0	
次期繰越金		486,841		0	
合 計	10,735,000	10,932,358	10,700,500	11,103,220	

注1 「伝道地補助金」(7,290,000円) 九州中会への旅費補助 250,000円
 沖縄伝道所 240,000円×16月=3,840,000円 岡山伝道所 200,000円×16月=3,200,000円

2017年度教会別献金総額

(2017年1月1日～12月31日)

教会名	金額
1 函館相生	155,500
2 札幌北一条	549,100
3 小樽シオン	80,300
4 旭川	107,800
5 北見	68,600
6 遠軽	36,900
7 滝川	72,500
8 聖園	28,900
9 室蘭	98,000
10 伊達	35,200
11 美深	5,200
12 苫小牧	60,500
13 遠浅	38,700
14 札幌琴似	166,300
15 札幌桑園	116,000
16 札幌豊平	0
17 札幌発寒	70,500
18 釧路	45,700
19 札幌白石	40,400
20 森林公園	47,500
21 稚内菽見	22,800
22 佐呂間	21,100
23 帯広	29,900
24 森	2,700
25 夕張	8,300
26 美瑛	0
27 札幌手稲前	4,100
28 北桜山	5,500
29 富良野	26,040
30 北広島山手	31,900
31 奈井江	9,700
32 大森	185,000
33 蒲田御園	136,000
34 鶴見	396,000
35 横浜長老	147,800
36 横須賀	26,400
37 湘南	82,300
38 秋田	52,800
39 柏木	607,800
40 栃木	94,000
41 小山	19,300
42 浦和	185,700
43 房総君津	52,900
44 横浜海岸	360,700
45 茅ヶ崎東	145,200
46 豊島北	62,700
47 鎌倉栄光	115,600

48 世田谷千歳	70,500	94 豊中中央	60,700
49 習志野	105,800	95 宝塚売布	76,400
50 南浦和	88,200	96 西宮中央	250,500
51 南柏	94,000	97 夙川	109,600
52 東京主僕	69,000	98 住吉	68,600
53 小平	111,000	99 神戸布引	51,000
54 袋井愛野め	26,400	100 神戸湊西	107,800
55 東京告白	19,300	101 明石大久保	58,800
56 仙台黒松	99,900	102 新宮	78,400
57 宇都宮松原	44,400	103 出雲今市	24,600
58 磐田西	47,500	104 尾道西	40,400
59 大和	84,200	105 広島長束	58,800
60 上田	60,700	106 徳島	58,000
61 荻窪北	29,900	107 観音寺	33,400
62 上溝	11,100	108 高知旭	58,800
63 大宮東	9,700	109 岡崎	14,000
64 静岡池田	25,000	110 近江草津	6,900
65 恵泉	13,900	111 奈良	9,700
66 東京中央	26,400	112 泉北	24,500
67 金目	9,700	113 神戸桜が丘	23,600
68 稲田堤	25,000	114 加西	31,900
69 西経堂	15,200	115 姫路	9,700
70 古河	13,900	116 熊野	12,500
71 郡山	8,300	117 宇久井	8,300
72 下館	8,300	118 岡山	20,800
73 福島	12,500	119 米子	16,600
74 多摩ニュー	26,400	120 高松	20,800
75 志木北	42,000	121 下関	38,500
76 つくばひた	16,200	122 大分中央	24,900
77 府中中河原	80,000	123 小倉	13,000
78 雲雀ヶ丘	10,000	124 志免	16,000
79 名東	166,000	125 福岡城南	164,100
80 岐阜	92,600	126 福岡筑紫野	13,000
81 大垣	94,500	127 久留米	40,400
82 大垣荒尾	43,400	128 柳川	21,600
83 亀山	19,300	129 佐賀めぐみ	35,200
84 福井宝永	22,800	130 島原	19,300
85 吉田	80,300	131 折尾	8,300
86 西都	109,700	132 八女	9,700
87 高槻	84,200	133 長崎	26,800
88 香里園	100,100	134 熊本	0
89 大阪北	97,100	135 沖縄	16,600
90 大阪西	149,000	136 宜野湾告白	3,100
91 大阪姫松	217,000	137 九州中連婦	10,000
92 北田辺	0		
93 池田	107,800	総合計	9,139,640